

## 佐賀県支部の皆様

佐賀県支部の皆様、こんにちは。

本年4月に校友会の会長に就任しました松岡です。

本日は、同志社校友会佐賀県支部総会の開催、誠におめでとうございます。

佐賀県支部さまにおかれましては、日頃より校友会へのご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。

さて、同志社校友会は、1885年（明治18年）12月19日、第1回卒業式から6年後、「アルミニ」会を創設したのが起源であることはご存じのとおりです。

それ以来、136年目の歳月とともに35万人ともいわれる校友を有する組織となり、この同志社校友会がさらに進化するために微力ながら、皆さまと一緒に母校の発展、校友の親睦を図っていきたいと考えております。

まず初めに、新型コロナウイルス感染症による影響を受けられました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

私自身といたしましては、井上会長からバトンを引き継いだものの、コロナ禍において有事での交代となりました。この春からは、全国の支部総会にお伺いできると考えておりましたが、現在感染者は減少傾向というものの、未だ予断を許さない状況であり皆様と直接にお顔を合わせてご挨拶をすることが叶わず、大変残念な思いです。本日も書状という形でのご挨拶とさせていただきますことになりました。

このような時だからこそ、卒業生団体である校友会が一丸となって、学生や大学に向けて支援を行うことが大切であると考えております。そしてこの活動は同時に校友会ネットワークの強化につながると考えています。

今後、校友会の活動目標と計画を明確にし、「新島襄の志」を現在から未来へ継承するための行動計画としての校友会ビジョンの策定が必要になると考えております。

この策定には、校友の皆様、一人ひとりの意見をくみ取り、その実現に向けて努力してまいります。

またその一方で、校友会の社会的責任として、ガバナンス強化とコンプライアンス遵守ということも考える必要があり、校友会の役割と機能を明確にしておくことも大切であると考えています。

コロナ感染症が終息した後これまでと同じように佐賀県支部の校友の皆様が再開されますことを祈念し、わたくしからの挨拶とさせていただきます。

本日は誠におめでとうございます。

同志社校友会 会長